

北部普及だより

農作業中の『ヒヤリ』『ハッと』を地域で確認 ～農業機械の安全作業講習会を実施～

現在年間 400 人もの方が、農作業中の事故で命を落としています。他産業では年々死亡事故が減っている中、農業における死亡事故は依然として毎年同じ水準で推移しています。

そこで農の普及課では 2 月 26 日（金）に能勢町内で、これから本格的に農業を始めようとする若い生産者を中心に、農業機械の安全な使用等について現地ほ場で講習会を実施しました。

当日は農機具メーカーから講師を招き、使用頻度の高いトラクターと田植え機について「使用前の点検、安全チェック」、「運転時の安全な操作方法、留意点」、「使用後のメンテナンス」などそれぞれの農機具の構造的な特徴を踏まえ説明を受けました。また当課からは農業機械毎のヒヤリハッと事例を紹介したチェックシートを説明



▲トラクターメンテナンスの様子

し、農業機械の安全使用を啓発しました。参加者からは普段使用中での疑問を積極的に質問したり、トラクターを購入して以来 1 回もメンテナンスをしたことがない方もおり、熱心に説明を聞いていました。

また能勢町では水田で野菜栽培する方が増えており、ほ場の排水性について関心が高く、今回はトラクターの利用方法の一つとして額縁明きよ、弾丸暗きよの施工技術も実演しました。講習会の準備段階から見学する人も現れるなど大盛況のうちに講習会は終了しました。

新規参加者は経営の早期確立のため栽培技術や販路開拓などに関心が向きがちですが、安全な職場環境の構築は何より重要です。当課では引き続き安全安心な働き方が習得できるよう支援します。



▲農業機械を使った安全使用講習

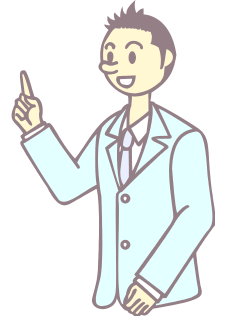
生産技術**もし、あなたの農産物から基準値を超える農薬が検出されたら？**

管内でも直売所が増えてきています。常連客も増え、生産にも励みが出ているのではないのでしょうか。しかし、「好事、魔多し」。想像されたことはありますか？例えば、直売所で、あなたの農産物から基準値以上の農薬が検出されたということ。もしそうなれば、その農産物は販売できませんし、あなた自身の信用が失墜することはもちろん、直売所や地域全体も信用を失い、その影響は計りしれません。

そのような事態に陥らないため、日頃から農薬の適正使用を心がけましょう。この記事をご覧の皆さんは、今までも適正に農薬を使用してきた方ばかりと思います。

・・・が、その油断こそ大きな落とし穴です。近年、登録内容が大きく変わった農薬も増えています。今一度、初心に戻って、農薬の使用に当たっては、くれぐれも油断されないよう、細心の注意を払うようお願いします。

農の普及課では、要望があれば農薬適正使用の講習会を開催しますので、お気軽に相談下さい。

**がんばる農家女性****茨木市産にこだわったジャム作り「^{ごおり}郡洋子さん」**

JA 茨木市農産物直売所「みしま館」で、茨木市産の農産物にこだわったジャムやマーマレードの加工・販売をされている郡洋子さんの活動を紹介します。

直売所でのジャム販売のきっかけは、地元の「郡コミセン朝市」にジャムを持っていったことです。このジャムが評判になり、JA 茨木市農産物直売所「みしま館」から声がかかりました。郡さんは、「孫に茨木市産のいちごや果物で作った安心なジャムを食べさせたい」、「ジャムの材料を提供している農家さんからは『余ったいちごやぶどうなどを無駄なくジャムに利用してもらえるのでうれしい』との声をいただいています」と加工への思いを語ってくださいました。

現在では、いちじく、いちご、ぶどう、キウイ、ゆず、きんかん、梅、はっさくを材料にジャムやマーマレードを年間 1,800 本作り、「みしま館」で販売しています。今後も郡さんの一層のご活躍を期待しています。

- JA 茨木市農産物直売所「みしま館」
- 休業日：毎週水曜日、年末年始
- 販売時間：9時30分から18時00分
- 駐車場：無
- 所在地：茨木市庄2丁目26-22



▲みしま館でファンの多い郡さんのジャム

お知らせ

☆表彰おめでとうございます

- 山田浩史氏（池田市） 平成27年度大阪府農業生産・経営近代化優秀農業者等選賞事業 大阪府知事賞
- 高槻市地産地消推進協議会 平成27年度地産地消優良活動表彰 近畿農政局長賞
- 原田富生氏（能勢町） 平成27年度環境保全型農業推進コンクール 近畿農政局長賞